

「南砺市都市計画マスタープラン」 に関する市民アンケートの結果

南砺市 都市計画課

平成 19 年 12 月

目 次

1 . 調査の概要	1
(1) 目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査対象	1
(4) 実施時期	1
(5) 配布回収	1
2 . 回答者の属性	1
(1) 性別	1
(2) 年齢 (年代)	2
(3) 主な職業	2
(4) 住所と勤務・就学先	3
(5) 市内での居住年数	4
(6) 他での居住経験	4
(7) 他での居住	5
3 . 調査結果の概要	6
3 - 1 地域の環境への満足度	6
(1) はじめに	6
(2) 地域別	8
(3) 年齢別	8
3 - 2 都市計画の考え方	9
(1) 今後の重点施策	9
(2) 市街地の拡大	10
(3) 郊外型大型店の立地	10
(4) 生活施設の配置	11
(5) 狭隘道路の拡幅	11
(6) 自然環境等の保全	12
(7) 観光振興への期待	12
(8) 各種施設の統廃合	13
3 - 3 市の都市計画の焦点	14
(1) 中心市街地での空地・空家 (1 つ選択)	14
(2) 中心街の商業振興・活性化 (1 つ選択)	16
(3) 今後の道路整備 (2 つ選択)	18
(4) 公園・緑地や緑化 (2 つ選択)	20
(5) 中心市街地の防災 (2 つ選択)	22
(6) 歴史的街並みや散居景観の保全 (3 つ選択)	24
(7) 人口定着のための就労先確保 (1 つ選択)	26
(8) 東海北陸道開通への期待等 (2 つ選択)	28
(9) 北陸新幹線への対策 (2 つ選択)	30
4 . 自由記入意見	32

1 . 調査の概要

(1) 目的

現在策定を進めている新市のまちづくりの指針「南砺市都市計画マスタープラン」に市民のみなさんの意向を取り入れたものとするため、「『南砺市都市計画マスタープラン』に関する市民アンケート」を実施しました。

(2) 調査内容

調査については、回答者の属性（7問） 地域の環境への満足度（3問） 都市計画の考え方（8問） 市の都市計画の焦点（9問） 自由記入（1問）の5分野、28問としました。

(3) 調査対象

市内に居住する 18 歳以上、75 歳未満の市民 3,000 人を対象として、住民基本台帳（平成 19 年 4 月 1 日付）から抽出しました。

(4) 実施時期

調査は、平成 19 年 11 月上旬に開始し、11 月 15 日を締め切りとしました。

(5) 配布回収

配布回収は郵送にて行いました。配布数 3,000 に対して、回収は 1,644 票で、回収率は 54.8% となりました。

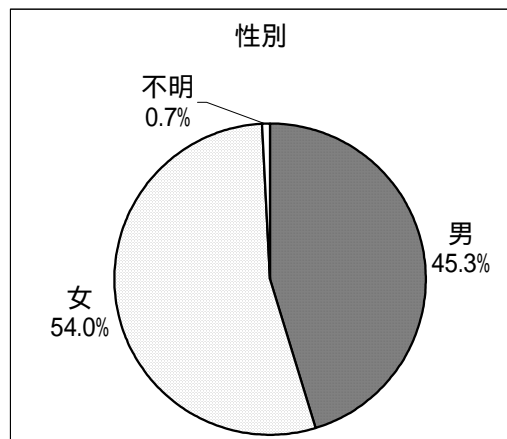
2 . 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。
1 . 男性 2 . 女性

回答者の約54%が女性で、男性は約45%であり、女性の方が約9ポイント高くなっています（不明が1%）。

ちなみに、平成17年の国勢調査によれば、男性と女性の割合は47%と53%なので、調査結果はほぼこうした実態を反映した結果となっています。

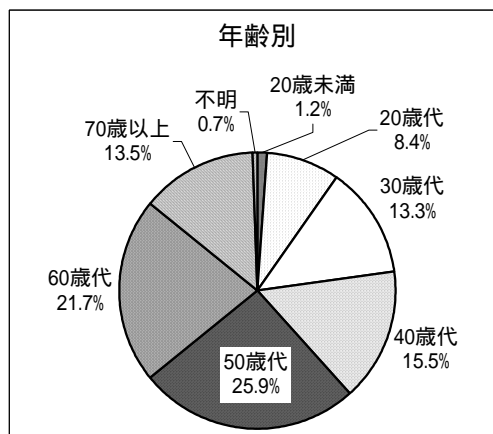


(2) 年齢(年代)

問2 あなたの年齢はおいくつですか。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 | | |

50歳代が約26%で最も多く、60歳代が約22%、40歳代が約16%、70歳以上が約14%、30歳代が約13%と続いています。20歳代は約8%であり、18、19歳は約1%あまりと少ない状況です。

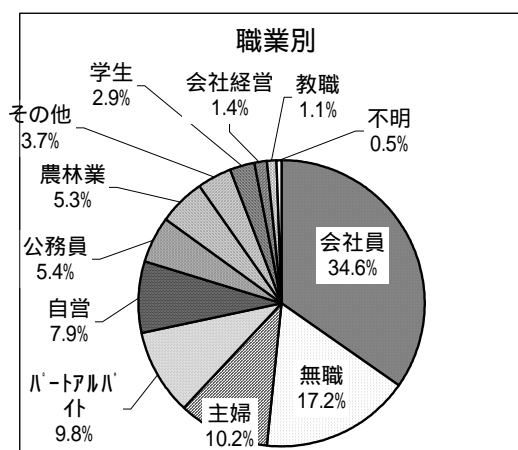


(3) 主な職業

問3 あなたの職業は何ですか。(主なもの1つ)

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 | 3. 教職 |
| 4. 農業・林業 | 5. 会社経営 | 6. 自営(商店など) |
| 7. パートアルバイト | 8. 学生 | 9. 主婦 |
| 10. 無職(年金) | 11. その他() | |

多い順に並べると、会社員が約35%、無職(年金)が約17%、主婦が約10%、パート・アルバイトが約10%、自営(商店等)が約8%となっています。



(4) 住所と勤務・就学先

問4-1 住所と勤務・就学先はどこですか。

- A. 城端 B. 平 C. 上平 D. 利賀 E. 井波
 F. 井口 G. 福野 H. 福光 I. その他 ()

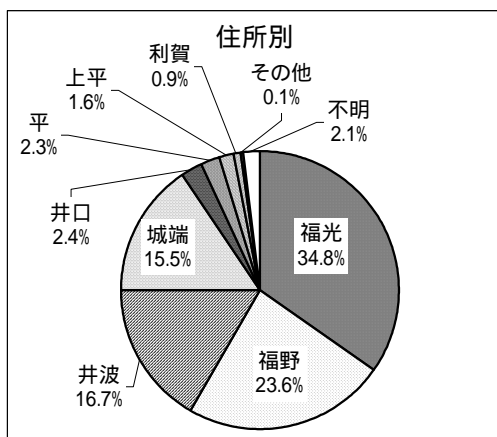
1) 住所

地域別では、福光が約35%で最も多く、以下、福野が約24%、井波が約17%、城端が約16%となっており、この4地域で全体の約91%を占めています。

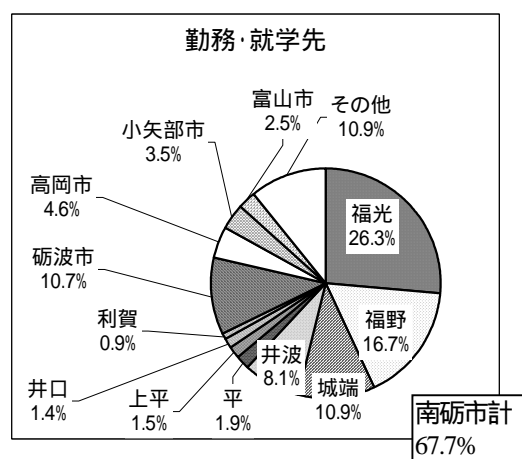
2) 勤務・就学先

勤務・就学をしている市民1,059人(回答者全体の約64%)の勤務・就学先を見ると、下表のとおり、概ね住所地の順となっていますが、城端・福野・福光では常住者の7割前後、井波では半分にまで落ち、結果として、他市町村が首位となっています。以上から、市内における就業と就学の機会が少ないことが伺えます。

住所



勤務・就学先

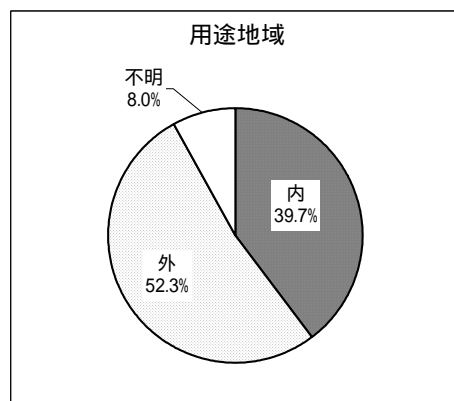


3) 用途地域内外

問4-2 あなたのお住まいは用途地域内ですか、用途地域外ですか。
 (別添図面にて用途地域図を添える)

1. 用途地域内 2. 用途地域外

住所地が用途地域の内か外かを聞いたところ、約52%が外、約40%が内との回答しました。

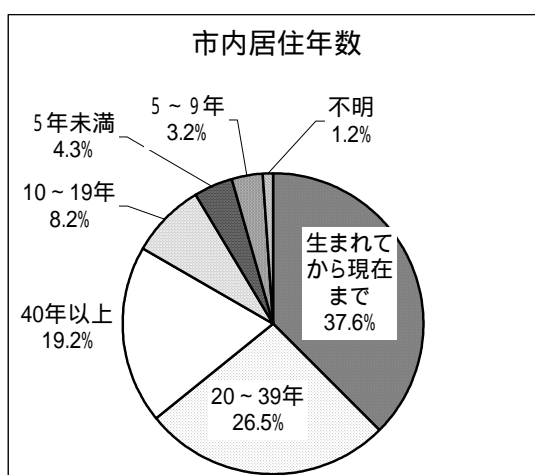


(5) 市内での居住年数

問5 南砺市（合併前含む）での居住年数は何年ですか。

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1 . 5年未満 | 2 . 5～10年未満 | 3 . 10年～20年未満 |
| 4 . 20～40年未満 | 5 . 40年以上 | 6 . 生まれてから現在まで |

南砺市内での居住年数は、「生まれてから現在まで」が約38%と最も多く、「20～40年未満」が約27%、「40年以上」が約19%と続いており、中高年が多いという状態を反映した結果といえます。

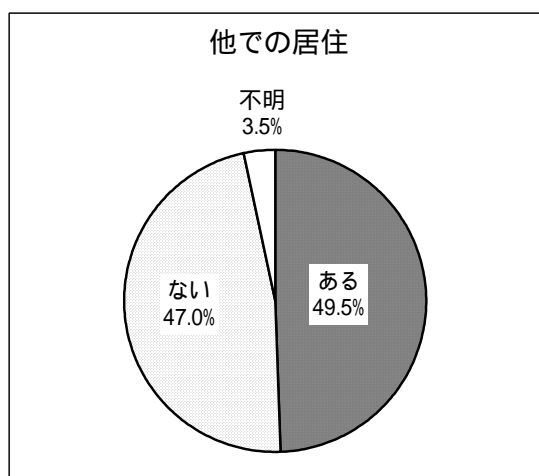


(6) 他での居住経験

問6 他の土地での居住経験はありますか。

- | | |
|--------|--------|
| 1 . ある | 2 . ない |
|--------|--------|

他の土地での居住経験を調べると、経験ありが814人(約49.5%)、経験なしが773人(約47.0%)と、ほぼ拮抗しています。



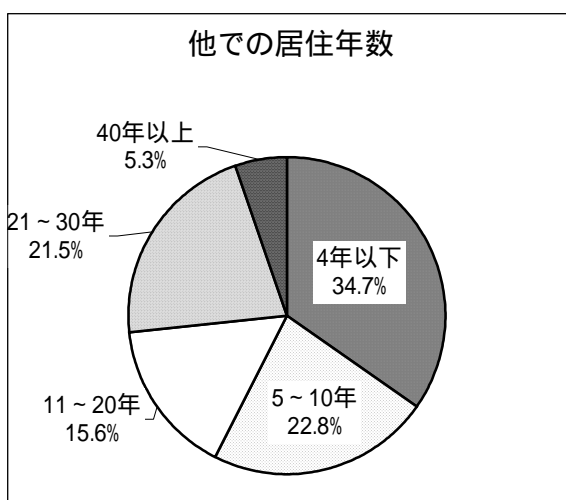
(7) 他での居住

問7 他の土地での居住経験がある方に質問します。具体的にどこですか。
(主な箇所1つ)

居住年数： 年
居住地： 都道府県 市町村

1) 年数

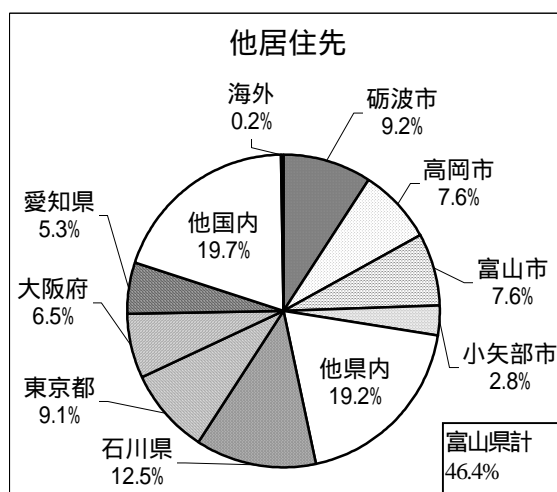
他での居住年数4年以下が約35%で最も多く、次いで5～10年の約23%であり、経験年数10年以下が約6割を占め、Uターン者と推測されます。



2) 居住先

居住先別では富山県内が約46%で最も多く次いで石川県の約13%、東京都約9%、大阪府約7%となっています。

富山県内の内訳を見ると、砺波市が約9%と最も多く、高岡市約8%、富山市約8%と続いています。



3 . 調査結果の概要

3 - 1 地域の環境への満足度

問8～10 各項目について五段階であてはまるもの1つを選び 印を付けてください。

満足 やや満足 普通 やや不満 不満

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1 幼稚園・保育園 | 2 小学校・中学校 | 3 高校(分布・通学等) |
| 4 高専・短大・大学 | 5 買物(利便性など) | 6 体育・スポーツ施設 |
| 7 社会教育・体育施設 | 8 医療施設 | 9 福祉施設 |
| 10 住環境・コミュニティ | 11 自然環境 | 12 災害・防災対策 |
| 13 文化財・遺産 | 14 景観(自然・歴史文化等) | 15 鉄道・(コミュニティ)バス |
| 16 道路(幹線・生活道路等) | 17 就業先(企業誘致など) | 18 住宅地(転入者の受入) |
| 17 観光施設・レジャー施設 | | |

(1) はじめに

教育環境、日常生活環境、その他の環境に分類し、19項目について満足・不満度を5段階で評価してもらいました。満足を5点、やや満足を4点、普通を3点、やや不満を2点、不満を1点として得点を合計し、それを回答者数で割って平均得点を求めると下表のようになります。

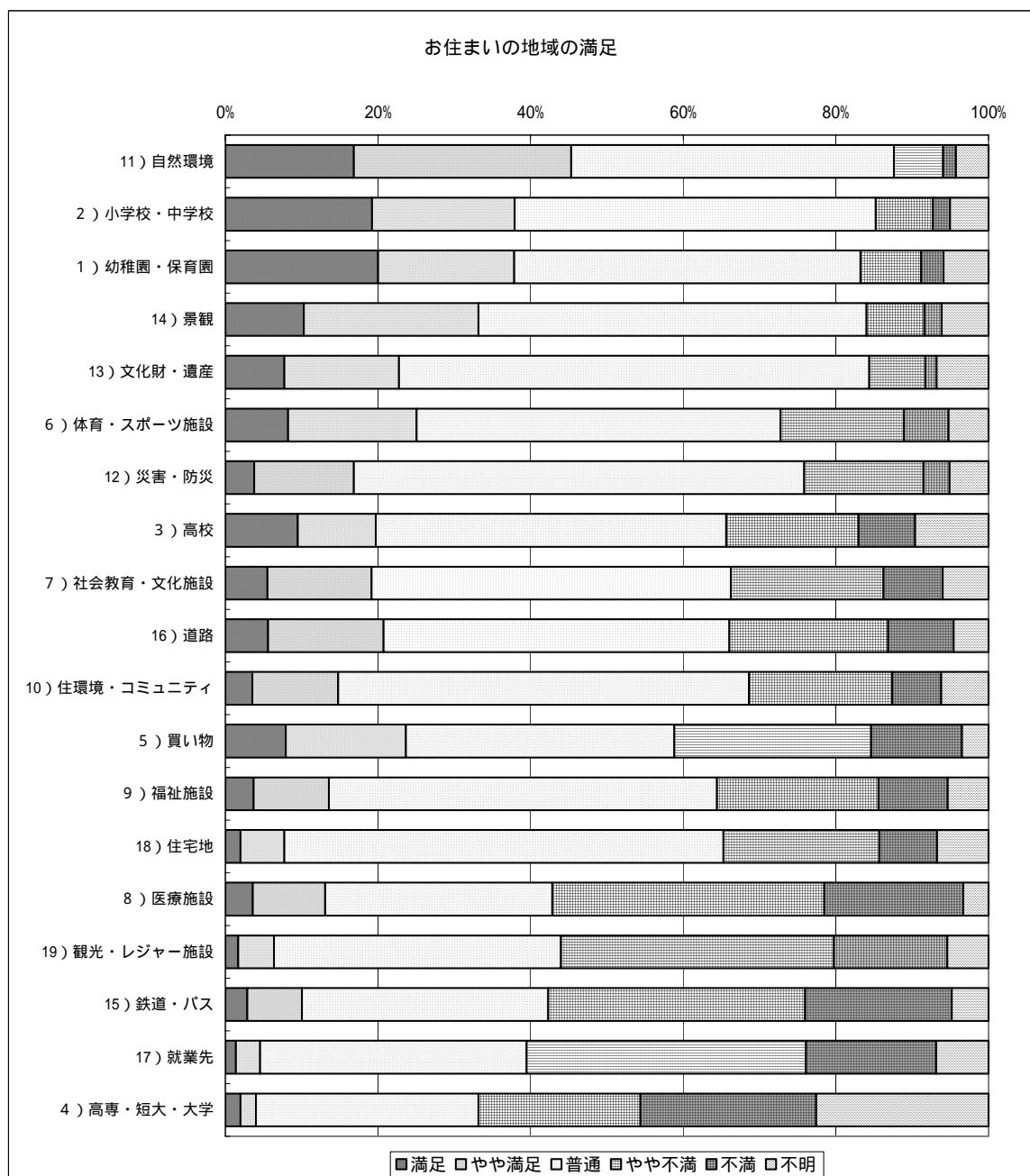
	回答者数	総得点	平均得点	順位
11) 自然環境	1564	5550	3.55	1
2) 小学校・中学校	1551	5395	3.48	2
1) 幼稚園・保育園	1537	5333	3.47	3
14) 景観(自然・歴史文化等)	1533	5114	3.34	4
13) 文化財・遺産	1523	4901	3.22	5
6) 体育・スポーツ施設	1548	4734	3.06	6
12) 災害・防災	1550	4621	2.98	7
3) 高校(分布・通学等)	1477	4387	2.97	8
7) 社会教育・文化施設	1535	4429	2.89	9
16) 道路(幹線・生活道路等)	1559	4491	2.88	10
10) 住環境・コミュニティ	1533	4386	2.86	11
5) 買物(利便性など)	1577	4436	2.81	12
9) 福祉施設	1546	4279	2.77	13
18) 住宅地(転入者の受入れ等)	1523	4149	2.72	14
8) 医療施設	1580	3834	2.43	15
19) 観光施設・レジャー施設	1546	3701	2.39	16
15) 鉄道・(コミュニティ)バス	1555	3699	2.38	17
17) 就業先(企業誘致など)	1521	3504	2.30	18
4) 高専・短大・大学	1265	2795	2.21	19

平均得点(満足度)が高いのは、自然環境(3.55)、小学校・中学校(3.48)、幼稚園・保育園(3.47)、景観(3.34)、文化財・遺産(3.22)などとなっています。

自然環境、幼稚園・保育所、小学校・中学校、景観については、ほぼすべての年代で満足度が高いが、文化財・遺産に関しては、60歳代以上で満足度が低下する傾向が認められます。

逆に平均得点が少ない（不満度が高い）ものを順に10位まで並べると、高専・短大・大学（2.21）、就業先（2.30）、鉄道・バス（2.38）、観光施設・レジャー施設（2.39）、医療施設（2.43）、住宅地（2.72）、福祉施設（2.77）、買物（2.81）、住環境・コミュニティ（2.86）、道路（2.88）となっています。ただし、高専・短大・大学については、回答した者自体が約77%と少なくなっています。

満足度の順でグラフで示すと、下記のとおりとなります。“満足”と“やや満足”を足した数値は「自然環境」「小学校・中学校」「幼稚園・保育園」となり、同等の順となっています。



(2) 地域別

地域別には、幼稚園・保育所、小学校・中学校はどこでも上位を占めていますが、平、上平、利賀では自然環境、景観への満足度が突出しています。

高専・短大・大学はすべての地区に共通して不満が高い一方、平、上平、利賀では就業先と観光に不満が集中していることが特筆されます。

満足上位

	城端	井波	福野	福光	井口	平	上平	利賀
1位	自然環境	自然環境	体育	小中学校	幼稚保育	景観	景観	小中学校
2位	小中学校	幼稚保育	自然環境	幼稚保育	自然環境	文化遺産	自然環境	自然環境
3位	景観	景観	幼稚保育	自然環境	小中学校	自然環境	文化遺産	景観
4位	文化遺産	小中学校	小中学校	景観	景観	幼稚保育	幼稚保育	幼稚保育
5位	幼稚保育	文化遺産	買物	高校	災害防災	高校	小中学校	体育

不満上位

	城端	井波	福野	福光	井口	平	上平	利賀
1位	就業先	公共交通	大学等	大学等	就業先	就業先	買物	就業先
2位	大学等	大学等	観光	医療	医療	大学等	就業先	道路
3位	医療	就業先	医療	就業先	大学等	公共交通	公共交通	高校
4位	高校	観光	公共交通	観光	公共交通	医療	医療	大学等
5位	公共交通	転入受入	就業先	公共交通	観光	買物	大学等	買物

(3) 年齢別

年齢別に見ると、公共交通は不満が多い方ですが、特に20歳未満や20歳代では最も不満が多くなっています。年代の上昇とともに不満度が高まるのは、就業先や大学等となっています。

満足上位

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	幼稚保育	自然環境	自然環境	自然環境	自然環境	小中学校	幼稚保育
2位	小中学校	景観	景観	景観	幼稚保育	幼稚保育	小中学校
3位	自然環境	幼稚保育	幼稚保育	小中学校	小中学校	自然環境	自然環境
4位	文化遺産	小中学校	小中学校	幼稚保育	景観	景観	景観
5位	景観	文化遺産	文化遺産	文化遺産	文化遺産	体育	高校

不満上位

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	公共交通	公共交通	大学等	大学等	大学等	大学等	就業先
2位	道路	観光	医療	公共交通	就業先	就業先	大学等
3位	大学等	就業先	公共交通	就業先	公共交通	観光	観光
4位	観光	大学等	観光	観光	医療	医療	公共交通
5位	就業先	医療	就業先	医療	観光	公共交通	医療

3 - 2 都市計画の考え方

(1) 今後の重点施策

問 11 今後、新市として重点的に整備や保全すべきと考えられる項目・施設等を5つまで選んでください。そのうちもっとも重要だと思われるものに 印をつけてください。

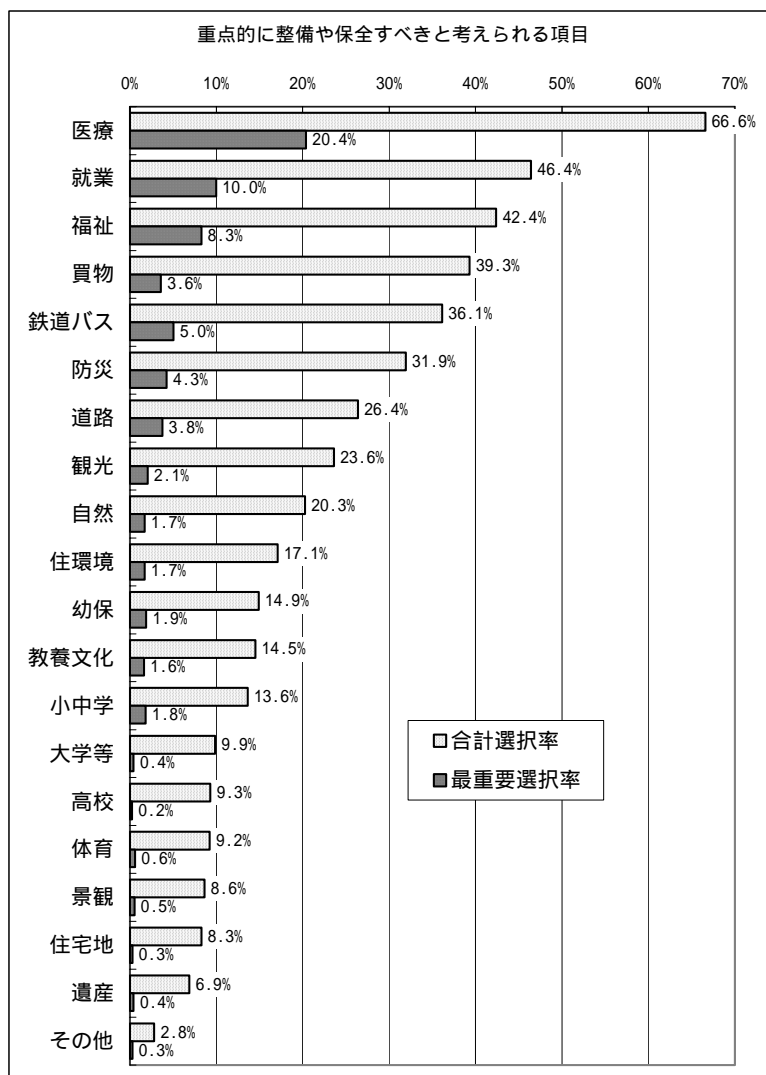
- | | | | |
|----------------------|---------------|----------------|------------|
| 1 幼稚園・保育所 | 2 小学校・中学校 | 3 高校 | 4 高専・短大・大学 |
| 5 買物 | 6 体育・スポーツ施設 | 7 社会教育・文化施設 | 8 医療施設 |
| 9 福祉施設 | 10 住環境・コミュニティ | 11 自然環境 | 12 災害・防災対策 |
| 13 文化財・遺産 | 14 景観 | 15 鉄道・バス | 16 道路 |
| 17 就業先 | 18 住宅地 | 19 観光施設、レジャー施設 | |
| 20 その他(自由にお書き下さい)() | | | |

今後重点的に整備や保全すべき項目・施設等を5つまで選び、うち最も重要と思われるものをあげてもらった結果、下図のようになりました。

不満の高かった医療施設、就業先、福祉施設、買物、鉄道・バスが重要であると認識されています。

施策の重要度は、年齢別に見ても先の不満度とほぼ対応しています。例えば20歳未満の上位は「鉄道・バス」や「買物」であり、20歳以上になると全年代に共通して「医療施設」が第1位となっています。また、60歳未満までは「就業先」が上位になっています。70歳以上では「福祉施設」が2位を占めるようになっています。

地域別には、ほぼすべて(サンプル数の少ないところ)で、逆転することもあるが)で「医療施設」が首位となり、「買物」や「就業先」と続いています。

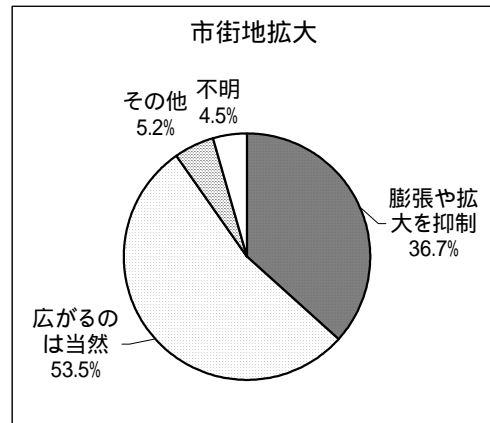


(2) 市街地の拡大

問12 市街地の今後のあり方について、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

1. 市街地の膨張・拡大は抑えた方がよい
2. 市街地が発展して広がるのは当然である
3. その他()

市街地の拡大については、「市街地が発展して広がるのは当然」が約54%、「市街地の膨張・拡大は抑えた方がよい」が約37%となりました。地域別に見ても、地域差は見られませんでした。

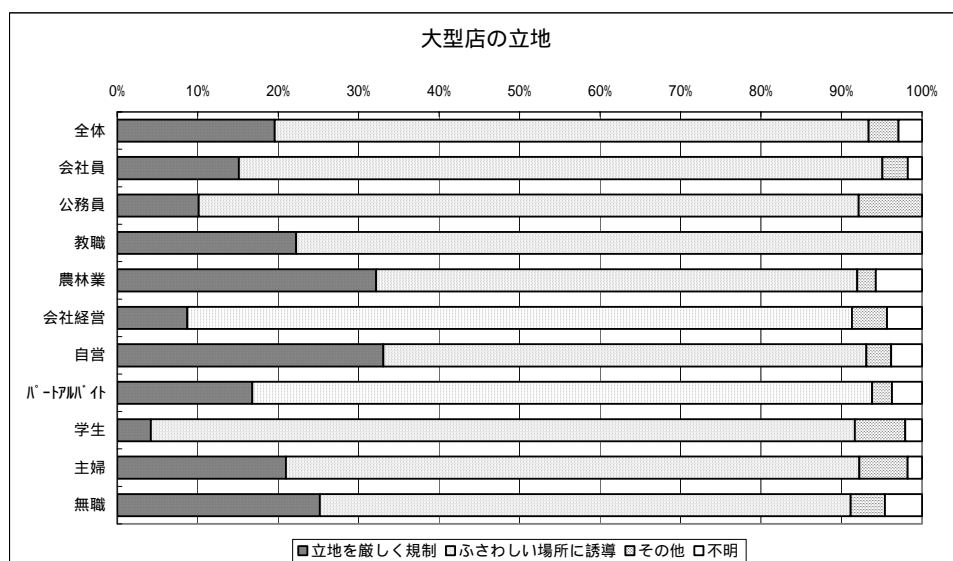


(3) 郊外型大型店の立地

問13 郊外型の大型店の立地について、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

1. 立地は厳しく規制すべきである
2. ふさわしい場所に誘導すべきである
3. その他()

郊外型大型店の立地については、「ふさわしい場所に誘導」が約74%で、「立地を厳しく規制」の約20%を抑えています。職業別にみても、学生は圧倒的に「ふさわしい場所に誘導」が多い一方で、商店などの自営や農林業の方は「立地を厳しく規制」が比較的多くなっています。

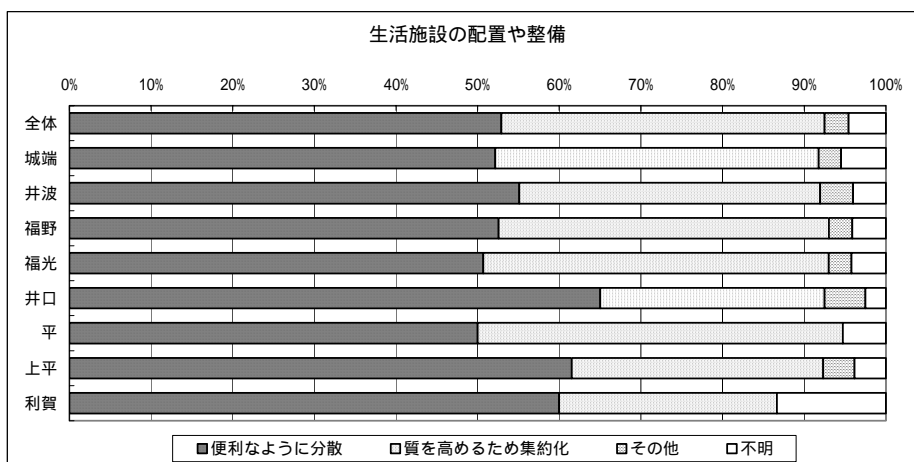


(4) 生活施設の配置

問14 生活施設の配置や整備に関して、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

1. 利用に便利なよう分散させた方が良い
2. 質を高めるため集積化を目指すべきである
3. その他()

生活施設の配置・整備については、「利用に便利なよう分散させる」が約53%、「質を高めるため集約化を目指す」が約40%で、利便性が質の向上を上回っています。地域別に見ると、井口、上平、利賀では「利用に便利なよう分散させる」が他地域よりも多くなっています。

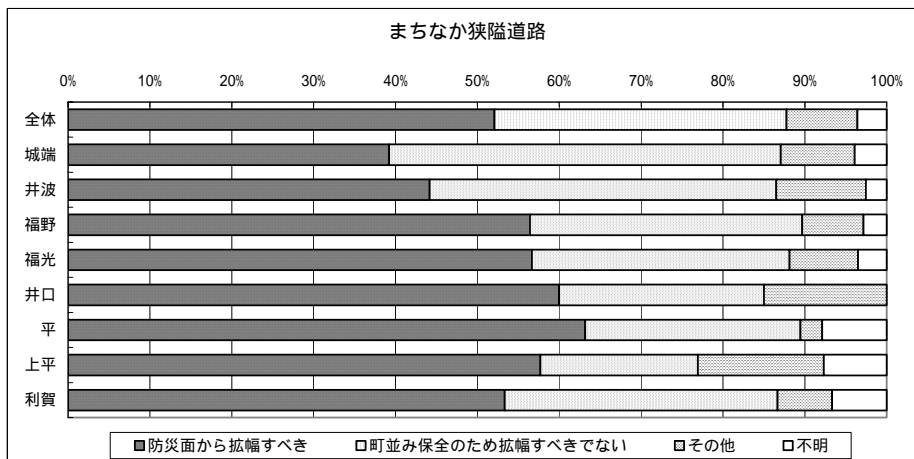


(5) 狭隘道路の拡幅

問15 まちなかの狭い道路の拡幅について、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

1. 防災の点から拡幅し、広い道にすべきである
2. 町並み等を守るため拡幅すべきではない
3. その他()

まちなかの狭い道路の拡幅については、「防災面から拡幅すべき」が約52%、「町並み保全のため拡幅すべきでない」が約36%となっています。城端や井波は「町並み保全のため拡幅すべきでない」が他地域よりも多くなっています。

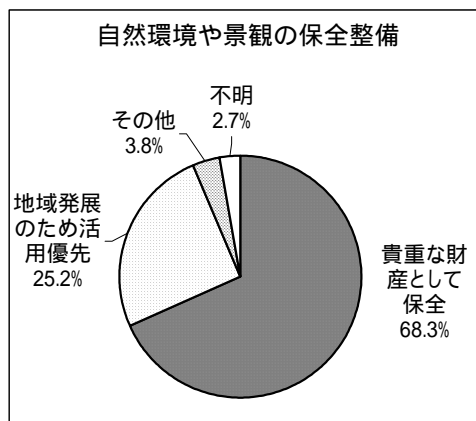


(6) 自然環境等の保全

問 16 自然環境や景観の保全・整備に関して、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

- 1 . 地域の貴重な財産なので、保全すべきである
- 2 . 地域の発展のため、活用を優先すべきである
- 3 . その他 ()

自然環境や景観の保全・整備については、「貴重な財産なので保全」が約68%で、「地域発展のため活用優先」の約25%を大きく上回っています。地域別では大差は見られませんでした。

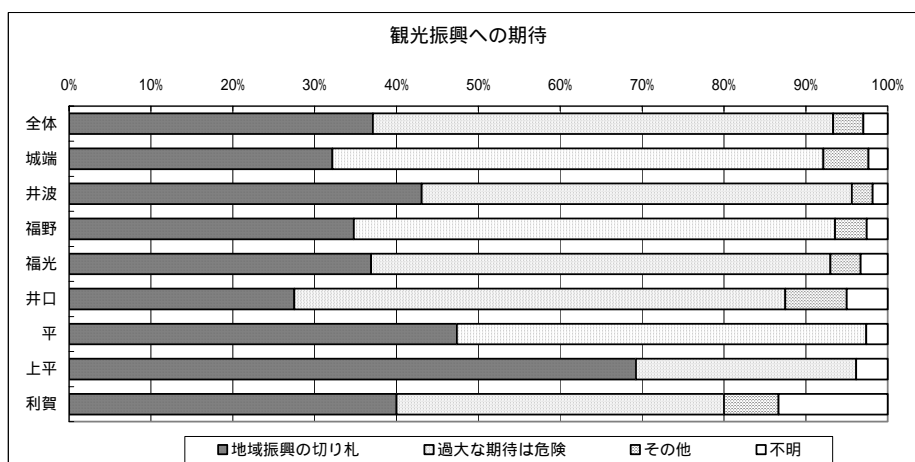


(7) 観光振興への期待

問 17 人口減少に対応するため、観光・交流人口を増やすことが重要とされていますが、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

- 1 . 観光は今後の地域振興の切り札である
- 2 . 観光振興に過大な期待は危険である
- 3 . その他 ()

人口減少に対応するため観光・交流人口を増やすことについて、「観光振興に過大な期待は危険」が約56%、「観光は今後の地域振興の切り札」が約37%となっています。地域別では上平が「観光は今後の地域振興の切り札」が他地域よりも多くなっています。

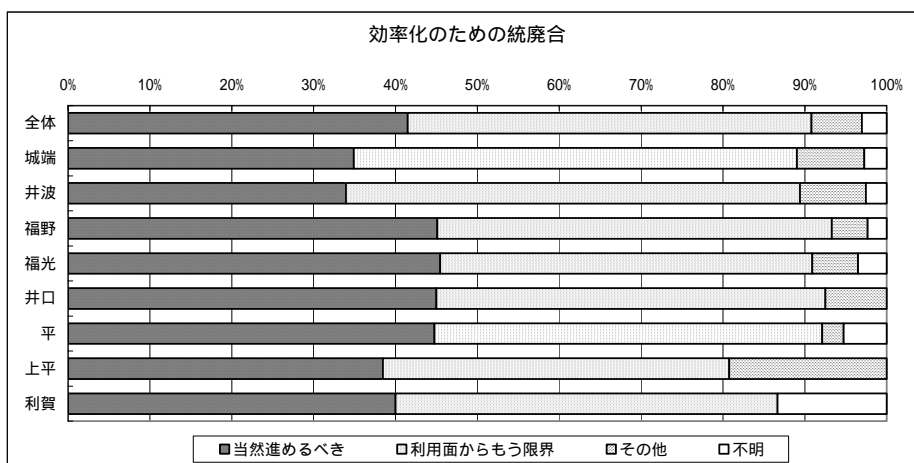


(8) 各種施設の統廃合

問 18 市町村合併による効率化のための各種施設の統廃合について、あなたの考えに近いのはどれでしょうか。

- 1 . 施設等の統廃合は、当然進めるべきである
- 2 . 施設利用の面から、統廃合はもう限界である
- 3 . その他()

各種施設の統廃合については、「施設の利用面から限界」が約49%、「施設等の統廃合は当然進めるべき」の約42%をわずかに上回りました。地域別に見ると、城端、井波、上平、利賀では「施設等の統廃合は当然進めるべき」が他地域よりも少なくなっています。



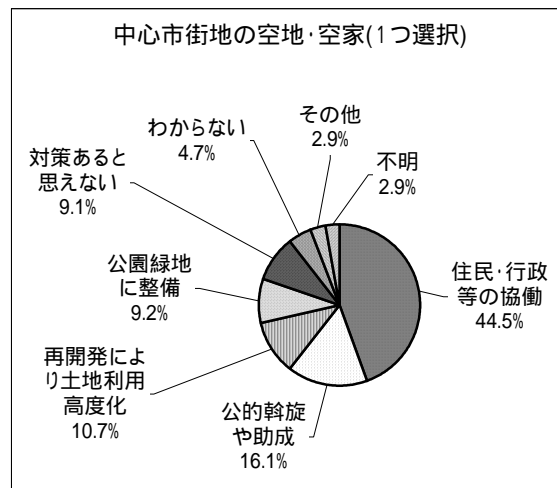
3 - 3 市の都市計画の焦点

(1) 中心市街地での空地・空家(1つ選択)

問19 町の中心部を活性化するために市街地で増えている空地や空家をどのように活用すれば良いとお考えでしょうか。(主なものを1つに 印)

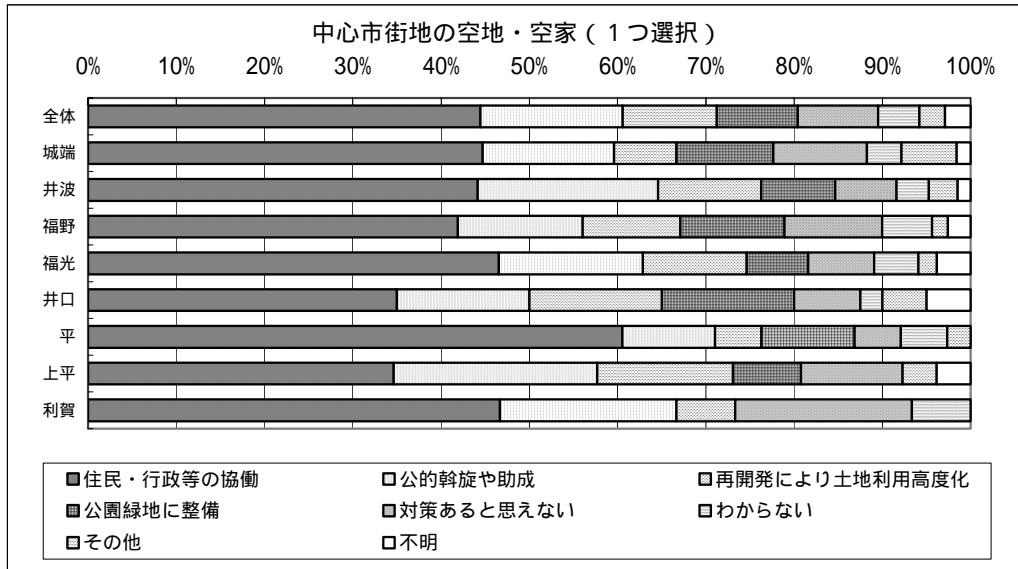
1. 持ち主(家主・地主)の了解も得て公園や緑地に整備し、市街地のうるおいアップに結びつける
2. 市など公的機関が斡旋や助成を行い、店舗や公益施設、住宅などに活用する
3. 空地、空家がある程度まとまるのを待って、再開発により土地利用の高度化(商業・業務施設や住宅の誘導など)を進める
4. 地域住民や行政が持ち主と十分話し合い、お互いに協力しながら、ふさわしい活用方法を考えていく
5. 特に有効な手だてや対策があるとは思えない
6. わからない
7. その他()

中心市街地の活性化のため、空地や空家の活用策として多かったのは、「住民と行政と持ち主の協力」が約45%で、以下「公的機関の斡旋による店舗・公益施設・住宅化」約16%、「再開発による商業・業務・住宅の導入」約11%、「公園や緑地への活用」約9%と続いています。

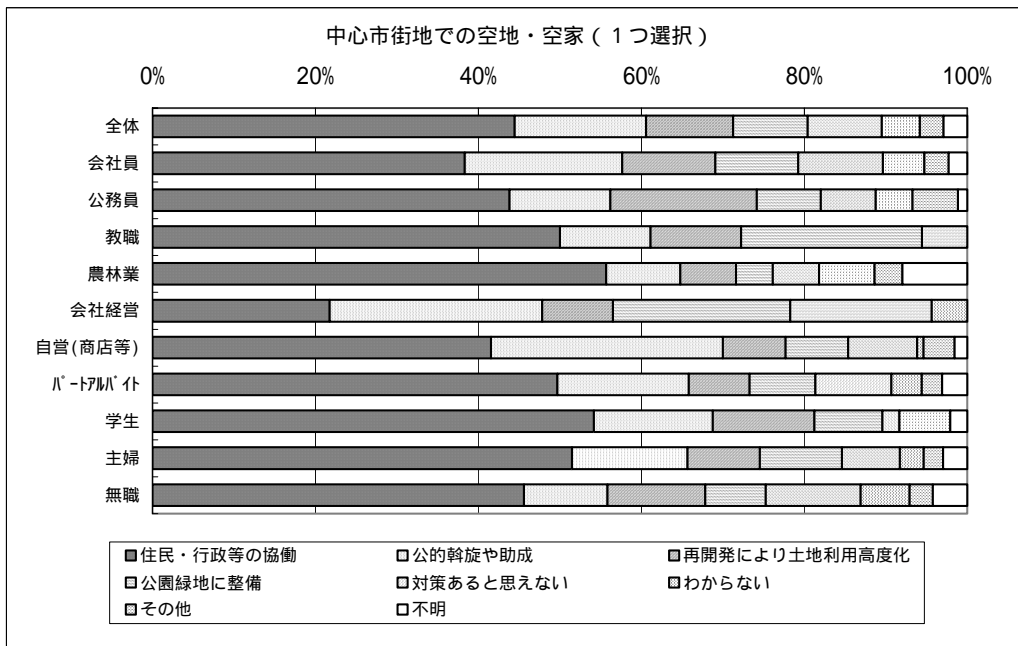


地域別には、平で「住民・行政等の協働」が6割を超えています。また利賀で「対策があると思えない」が2割と高かったのが特筆されます。職業別では会社経営が「住民と行政と持ち主の協力」が少ないことが伺えます。

地域別



職業別

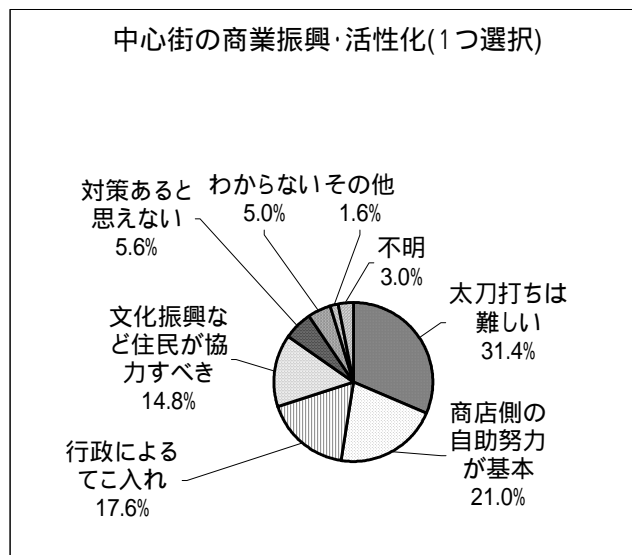


(2) 中心街の商業振興・活性化(1つ選択)

問20 町の中心部では商店の休業や閉店が生じていますが、中心街の商業振興・活性化についてあなたはどうお考えですか。(主なもの1つに 印)

1. 郊外の大型店は駐車場も備え、品揃えや値段などまさる点が多いので、まちなかの個店が太刀打ちするのは難しいと思う
2. 中心市街地の生活の利便さだけでなく、歴史的に築かれた街の賑わいを失うことにもなるので、行政によるてこ入れも含めて積極的に振興を図るべきだと思う
3. 中心市街地の活性化を望むが、サービスの見直し・改善など商店側の自助努力が基本だと思う
4. 商店街の体力なども考えると、店まかせにするのではなく、文化の振興なども含めて、周辺住民ももっと協力すべきだと思う
5. 特に有効な手だてや対策があるとは思えない
6. わからない
7. その他()

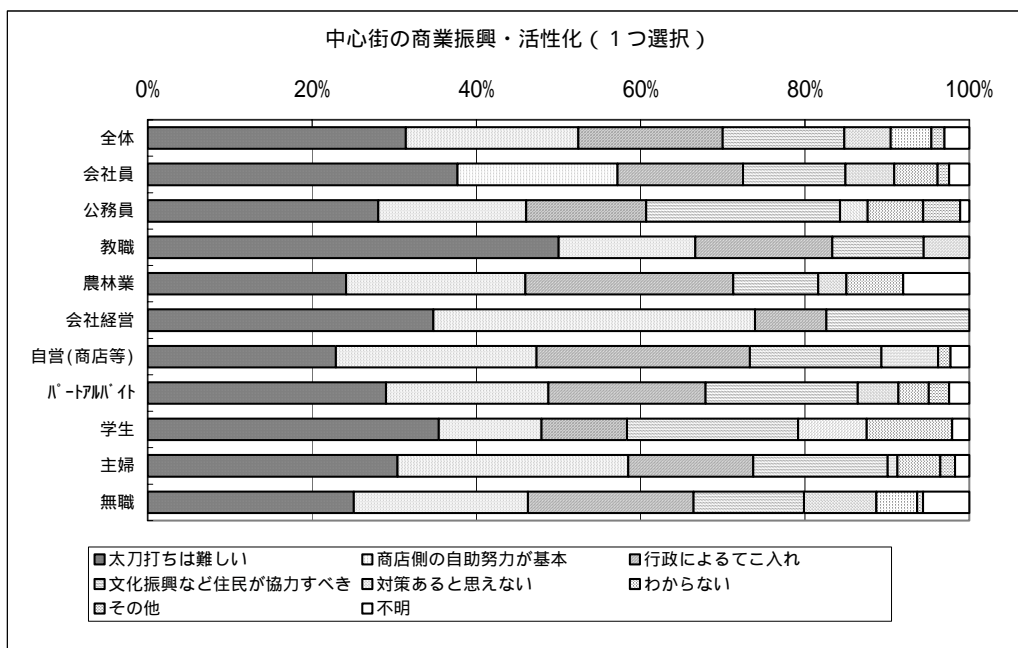
中心商店街の商業振興について、「大型店に太刀打ちするのは難しい」が約31%と最も多く、「商店側の自助努力が基本」約21%、「行政によるてこ入れ」約18%、「文化振興など住民も協力すべき」約15%となっています。



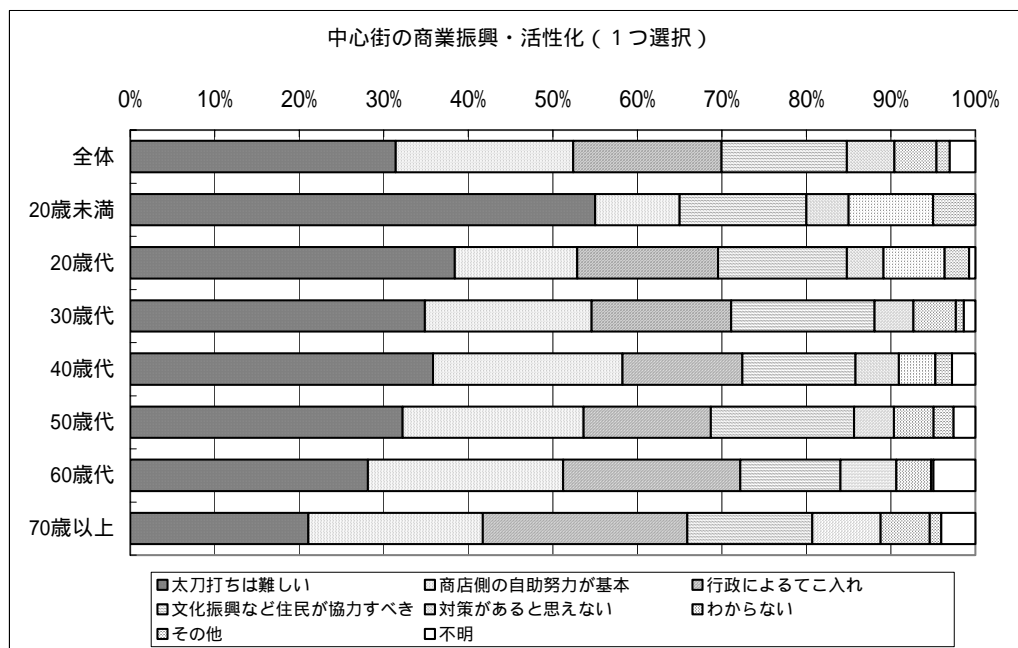
職業別にみると、農林業や自営(商店等)の方は「行政によるてこ入れ」が多くなっており、教職は「太刀打ちは難しい」が多いことが特筆されます。

年齢別では、若年層になるに従って「太刀打ちは難しい」が多くなっています。

職業別



年齢別



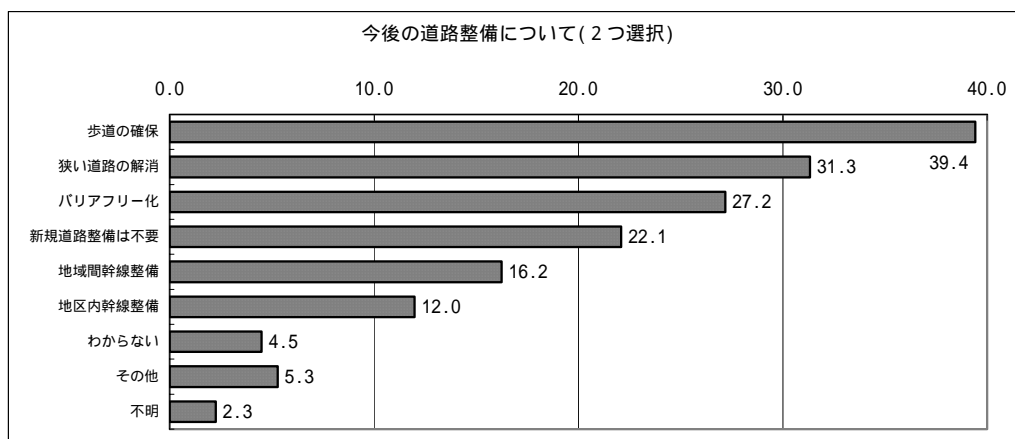
(3) 今後の道路整備(2つ選択)

問21 あなたがお住まいの地域(旧町村)において、今後の道路整備としてどのような取り組みが重要であるとお考えですか。(主なものを2つに 印)

1. 市内の各地域を連絡する幹線道路の整備が必要である
2. 地域内の交通を処理する幹線道路の整備が必要である
3. 消防車や救急車等の緊急車両が通れない狭い道路の解消が必要である
4. 歩行者が安全に歩けるように、車道と分離した歩道の確保が必要である
5. 高齢者も安心して歩けるように、バリアフリー化の促進を行う必要がある
6. 新たな道路整備の必要は特に感じない
7. わからない
8. その他()

バリアフリー：高齢者や障がい者にとっても使いやすいように段差をなくすこと

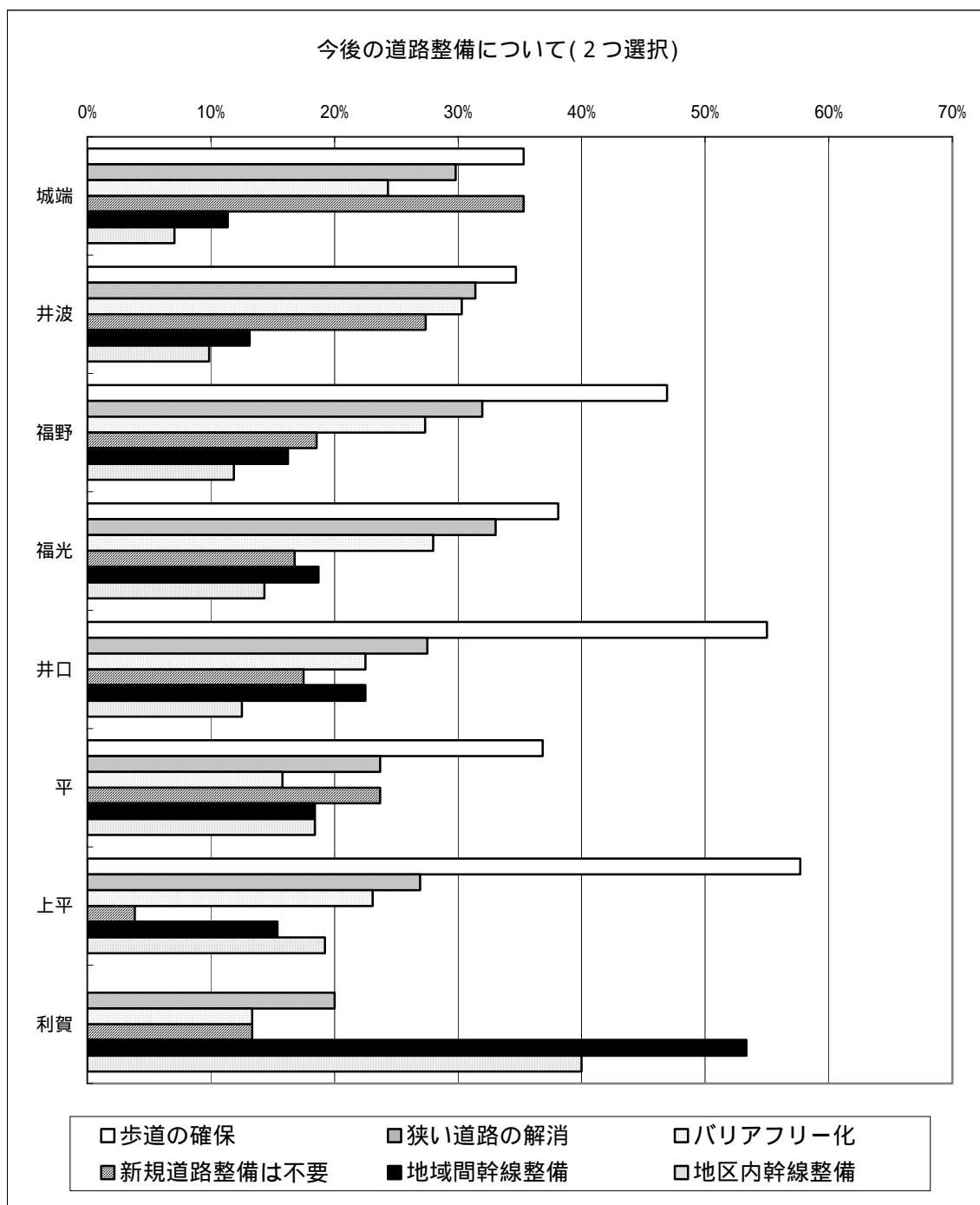
旧町村での道路整備で必要なことを2つまで選んでもらったところ、「車道と分離した安全な歩道の確保」を約39%が選び、以下「緊急車両通行のため狭い道路の解消」約31%、「バリアフリー化の促進」約27%、「新たな道路整備は不要」約22%、「地域間連絡幹線の整備」約16%、「地域内幹線の整備」約12%の順となっています。



地域別では、利賀を除いて「歩道の確保」が1位となっており、福野、井口、平、上平では2位以降を引き離して突出しています。

利賀では1位が「地域間幹線整備」で2位が「地区内幹線整備」となっており、他地域と要望が異なります。

地域別

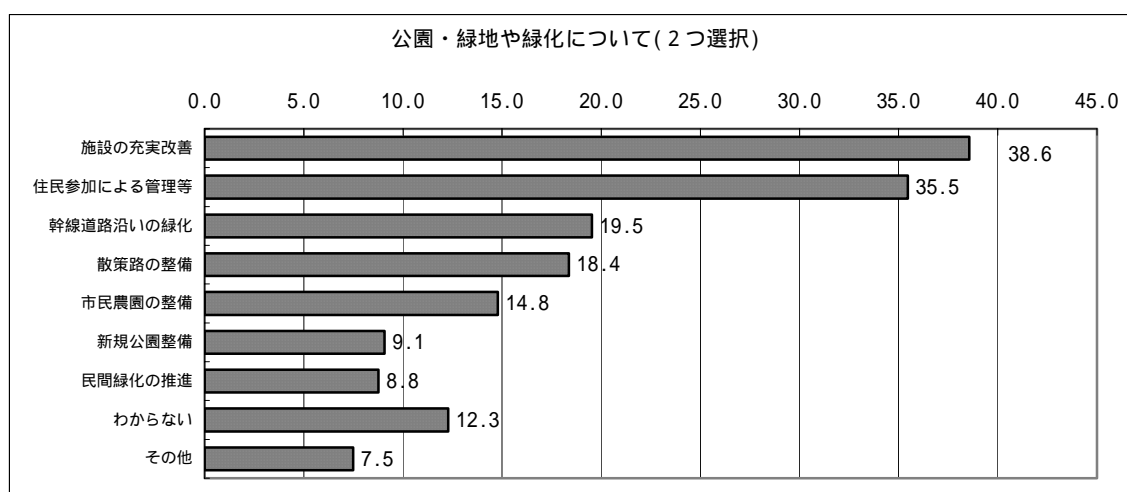


(4) 公園・緑地や緑化(2つ選択)

問22 あなたがお住まいの地域における公園や緑地、緑化についてどのような取り組みが重要であるとお考えですか。(主なものを2つに 印)

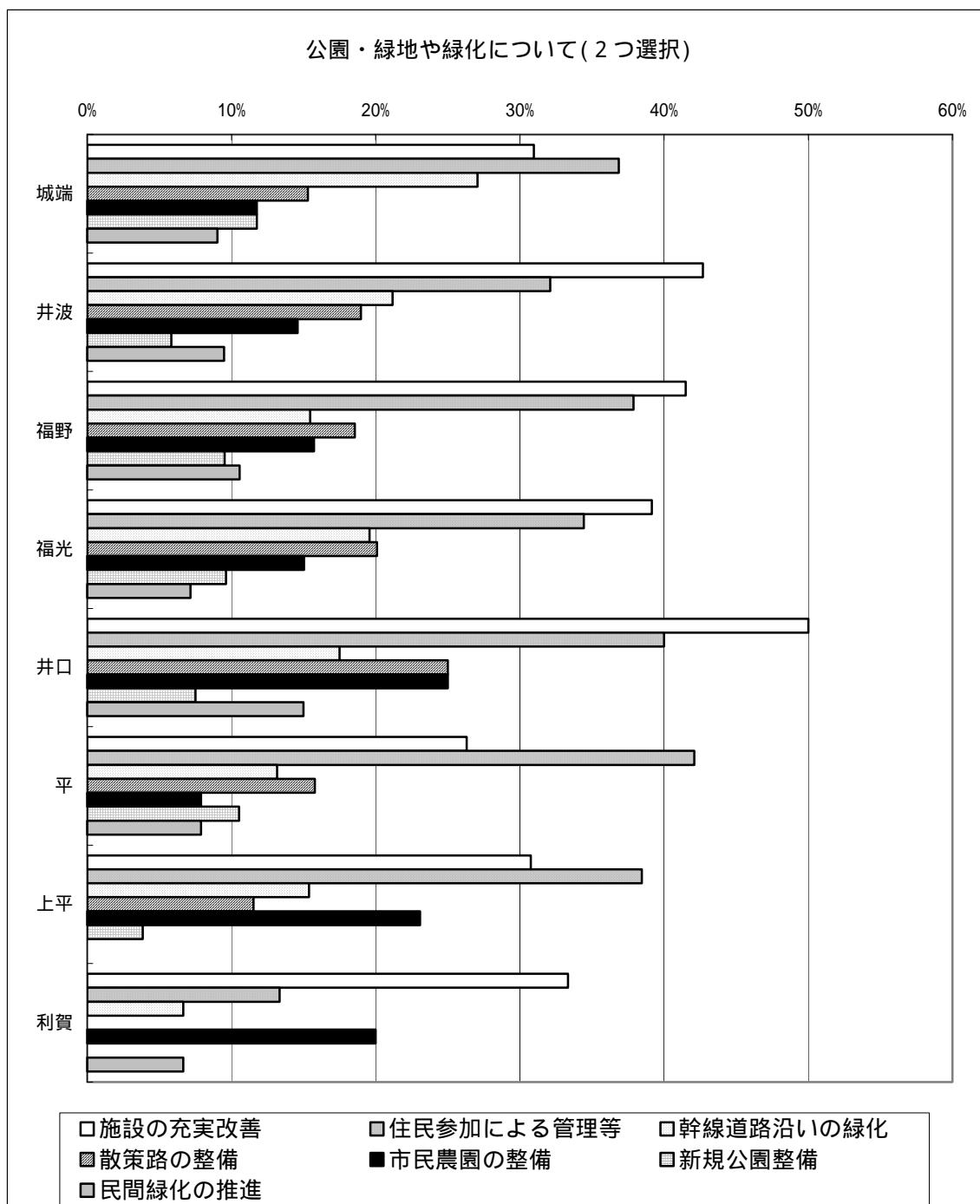
1. 地域内では緑地が不足しているため、新たな整備が必要だと思う
2. 既存公園の利用度を高めるため、施設の充実や改善が必要だと思う
3. 地域の特色を活かした市民農園の整備が必要である
4. 既存の公園や緑地へ向かう歩道を緑の回廊(散策路)として整備する
5. 幹線道路沿いに街路樹の植樹や花壇の設置などを進める
6. 民間の土地についても生垣等により積極的に緑化を推進すべきである
7. 公園の整備・管理を行うにあたり、地域住民の協力・参加が望ましい
8. わからない
9. その他()

公園や緑地の対策を2つまであげてもらった結果、最も多かったのが「施設の充実改善」約39%、「住民参加による管理等」約36%、「幹線道路沿いの緑化」約20%、「公園等への散策路の整備」約18%、「市民農園の整備」約15%であり、「新規公園整備」や「民間緑化の推進」などは1割未満と少なくなっています。



城端、平、上平では「住民参加による管理等」が「施設の充実改善」を抑えて第1位となっています。

地域別



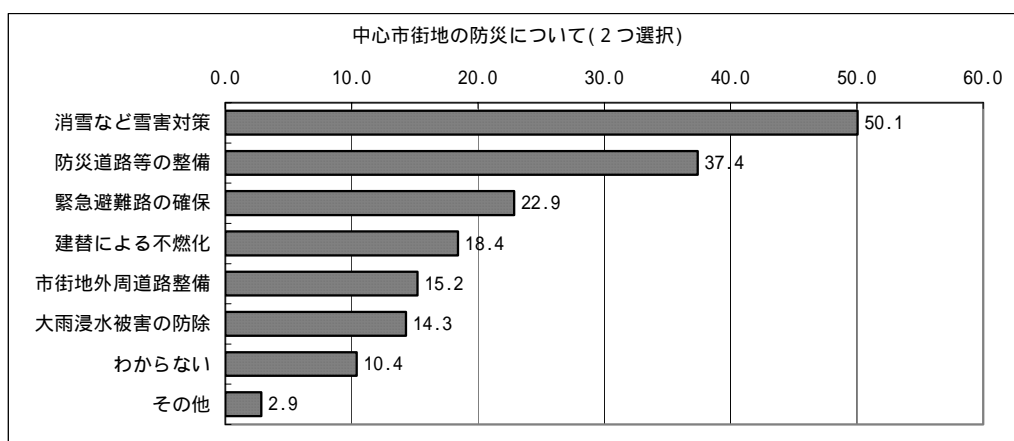
(5) 中心市街地の防災 (2 つ選択)

問23 歴史的につくられてきた市街地は、狭い道路に面して木造家屋が密集しています。安心して暮らすためにはどうすべきだとお考えですか。

(主なもの2つに 印)

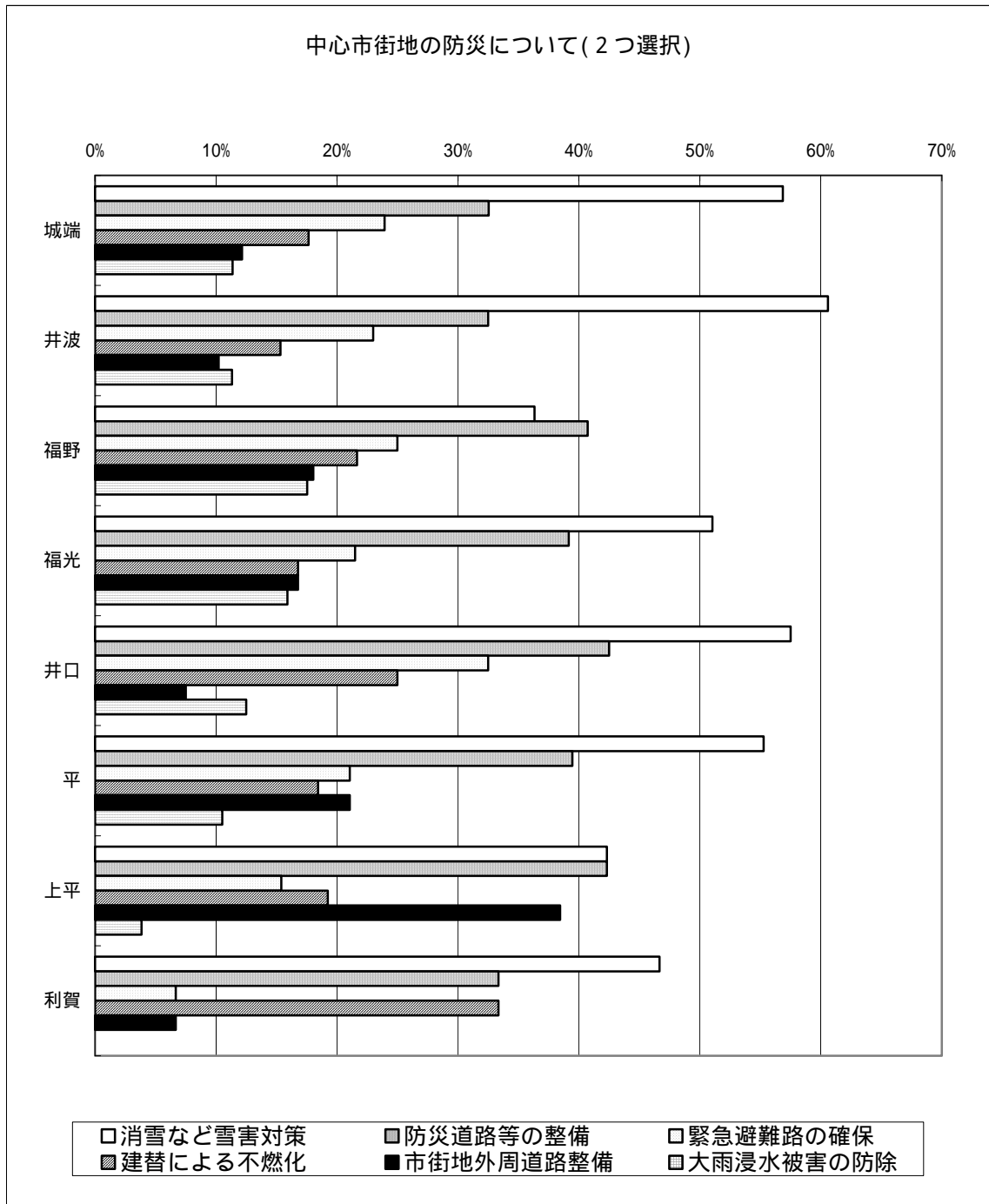
- 1 . 老朽化した木造家屋の建て替えにより不燃化・耐震性の向上を図る
- 2 . 移転後の空家、空き地を使って防災道路・避難場所・防火水槽等を整備する
- 3 . 遊歩道等を活用し、緊急時の避難路を確保する
- 4 . 市街地の外周を取り巻く環状幹線道路を整備する
- 5 . 都市河川、下水路等の整備し、大雨浸水被害を防除する
- 6 . 流雪溝や消雪パイプ・堆雪広場などを整備し、雪害対策を図る
- 7 . わからない
- 8 . その他 ()

中心市街地の防災性を高める方策を2つまでで聞くと、「雪害対策」約50%、「防災道路・避難場所等の整備」約37%、「緊急避難路の確保」約23%、「住宅建替えによる不燃化・耐震化」約18%、「市街地外周道路の整備」約15%、「大雨浸水被害の防除」約14%となっています。



地域別には「消雪など雪害対策」が各地域に共通して要望されているなか、福野ではそれを抑えて「防災道路等の整備」が首位を占めています。

地域別

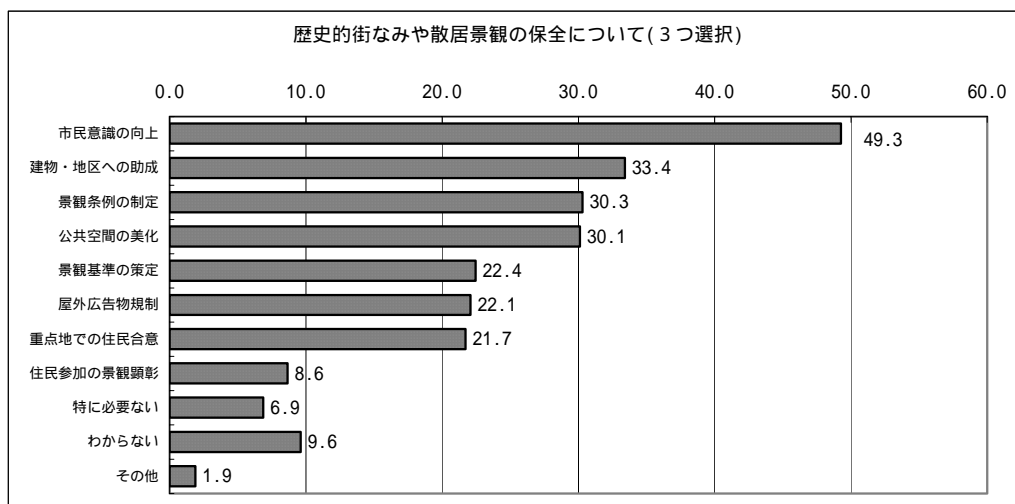


(6) 歴史的街並みや散居景観の保全 (3 つ選択)

問24 地域ならではの歴史的街並み景観や散居村の田園景観を守り、さらによりよいものにしていくには何が必要と考えますか。(主なもの3つに 印)

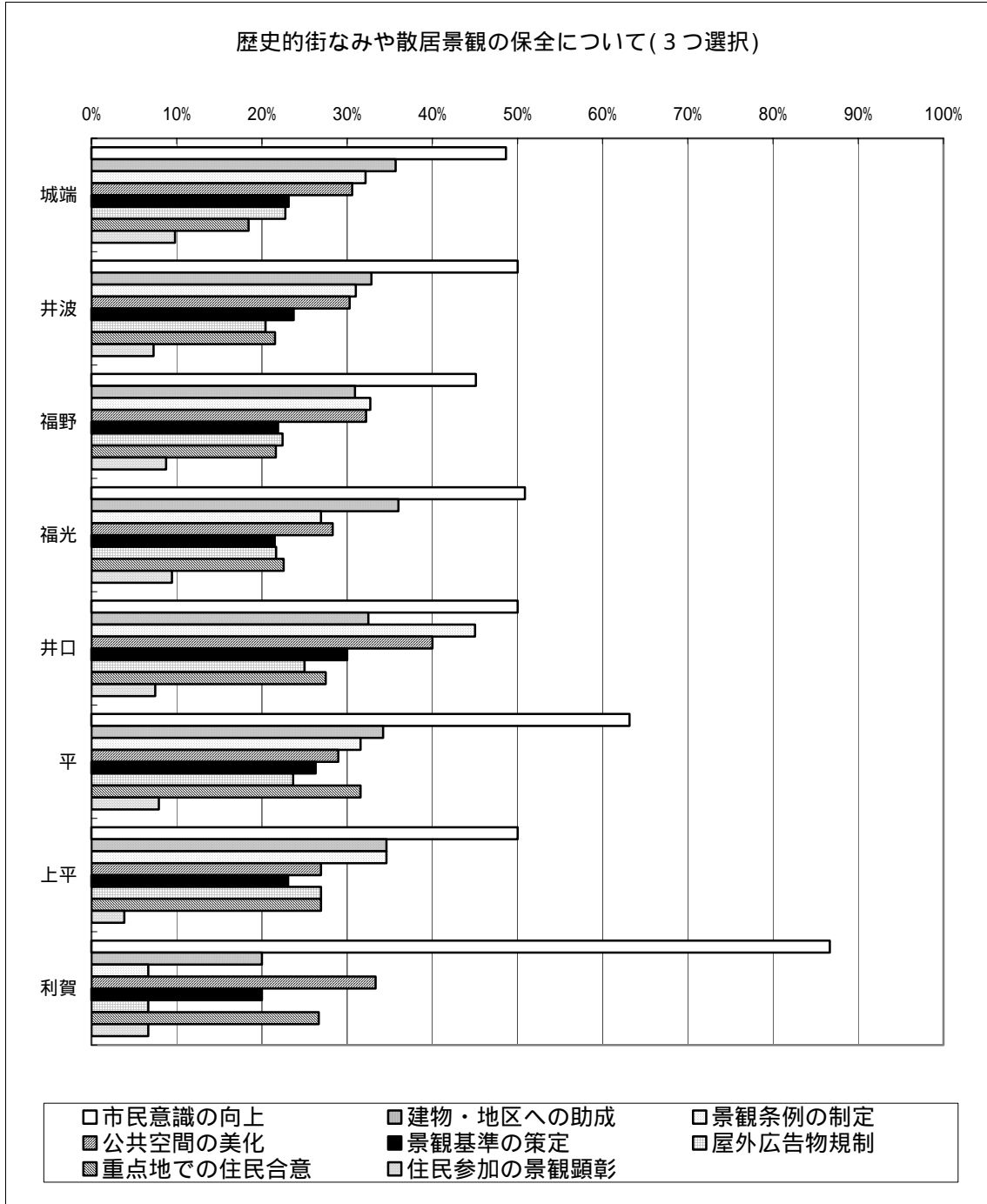
1. 景観に対する市民意識の向上を図ること
2. 景観を規制誘導する市全体のルール(景観条例)を定めること
3. 電線の地中化、街路灯、公共サインなど公的な事業により、美観対策を優先すること
4. 保存の必要性が高い建物・地区等を指定し、公的な支援を強めること
5. 建物や植栽などに関する景観基準を定め、これに基づくものを助成すること
6. 重点地区を定め、建物や景観づくりの約束事を住民総意で決めること
7. 市民参加のコンクールなどにより優れた景観を顕彰すること
8. 屋外広告物の規制により、沿道景観を整えること
9. 景観の保全や景観づくりは特に必要ない
10. わからない
11. その他()

街並みや田園景観の保全策(3つまで)は、「市民意識の向上」約49%、「建物・地区への助成」約33%、「景観条例の制定」約30%、「公共空間の美化」約30%、「景観基準の制定と助成」約22%、「屋外広告物規制」約22%、「重点地区での住民合意」約22%と続くが、「住民参加の景観顕彰」は1割に達しません。



地域別では、どこも「市民意識の向上」が多く、特に利賀が多くなっています。

地域別

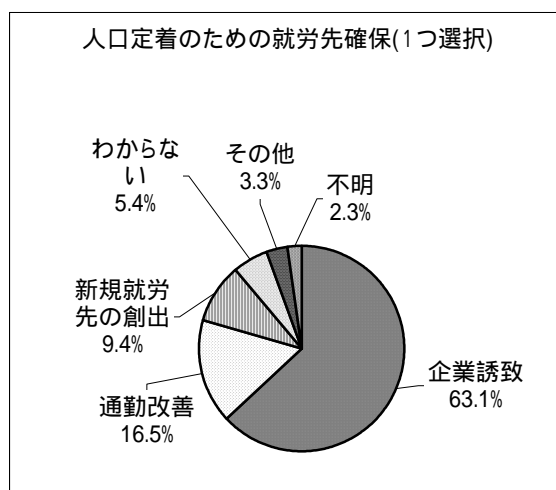


(7) 人口定着のための就労先確保(1つ選択)

問25 本市では若年層を中心に市外への転出や周辺都市への通勤が生じています。この理由の一つが「働き先」にあると考えられます。市の人口定着化を図るため、どのようにすれば良いとお考えですか。(主なもの1つに 印)

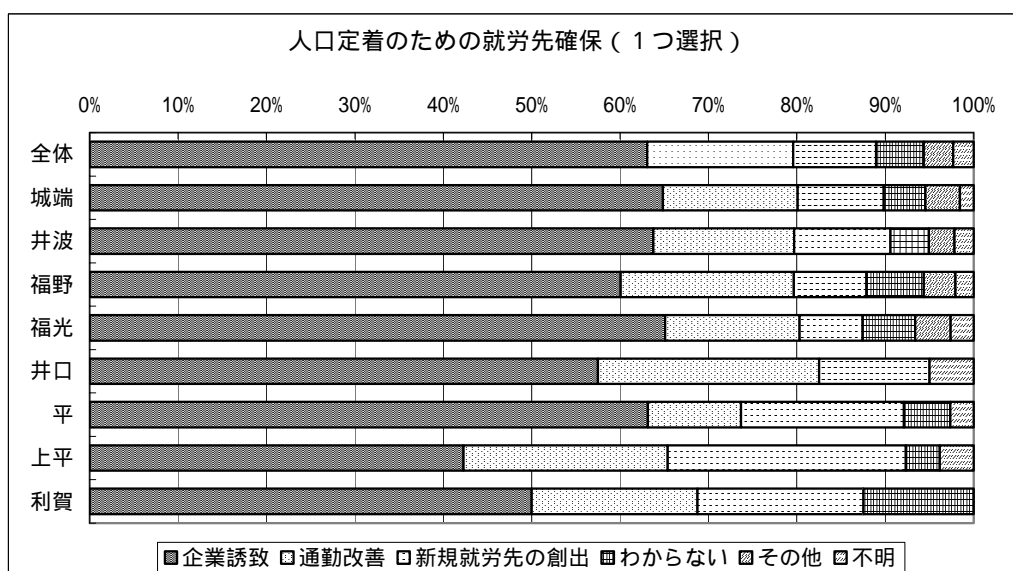
1. 働き先は周辺都市に期待し、通勤しやすいように交通条件を改善すればよい
2. 市街地にもっと企業を誘致するなどして、働き先を増やすべきだと思う
3. 観光振興などによって、新しい働き先をつくり出していくのが望ましい
4. わからない
5. その他()

人口定着に不可欠な就労先の確保のため、実に約63%が「企業誘致」を希望し、交通条件を改善して市外へ通勤の「通勤改善」約17%、「新規就労先の創出」約9%を圧倒しています。



地域別にみると、どこの地域においても「企業誘致」が多くなっているなかで、上平は他地域と比較して「企業誘致」が少なく「新規就労先の創出」が多くなっています。

地域別



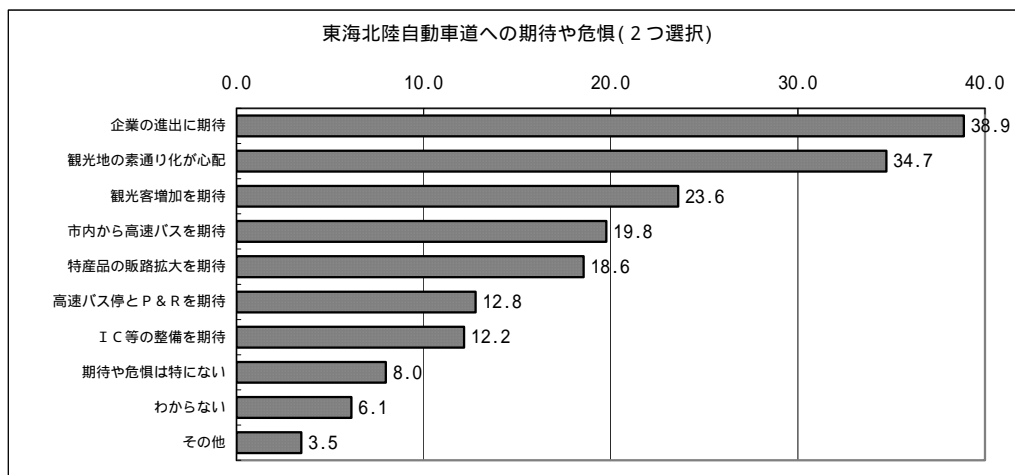
(8) 東海北陸道開通への期待等 (2 つ選択)

問26 平成20年春には、東海北陸自動車道の全線開通が予定されていますが、あなたはこれに対してどのような期待や危惧を感じていますか。(主なものを2つに 印)

1. 中京圏などからの観光客の増加が期待できる
2. 地域の特産品などの販路拡大が可能になる
3. 新たな企業・産業などの進出・立地が増えると期待する
4. 利便性を高めるため、IC(スマートIC)の整備に期待する
5. 高速バスを運行し、バス停及びパーク&ライド用の駐車場の整備に期待する
6. 市内の主要箇所と中京圏方面などを連絡する高速バスの運行に期待する
7. 観光地の素通り化や環境の悪化が心配になる
8. 期待や危惧することは特にない
9. わからない
10. その他 ()

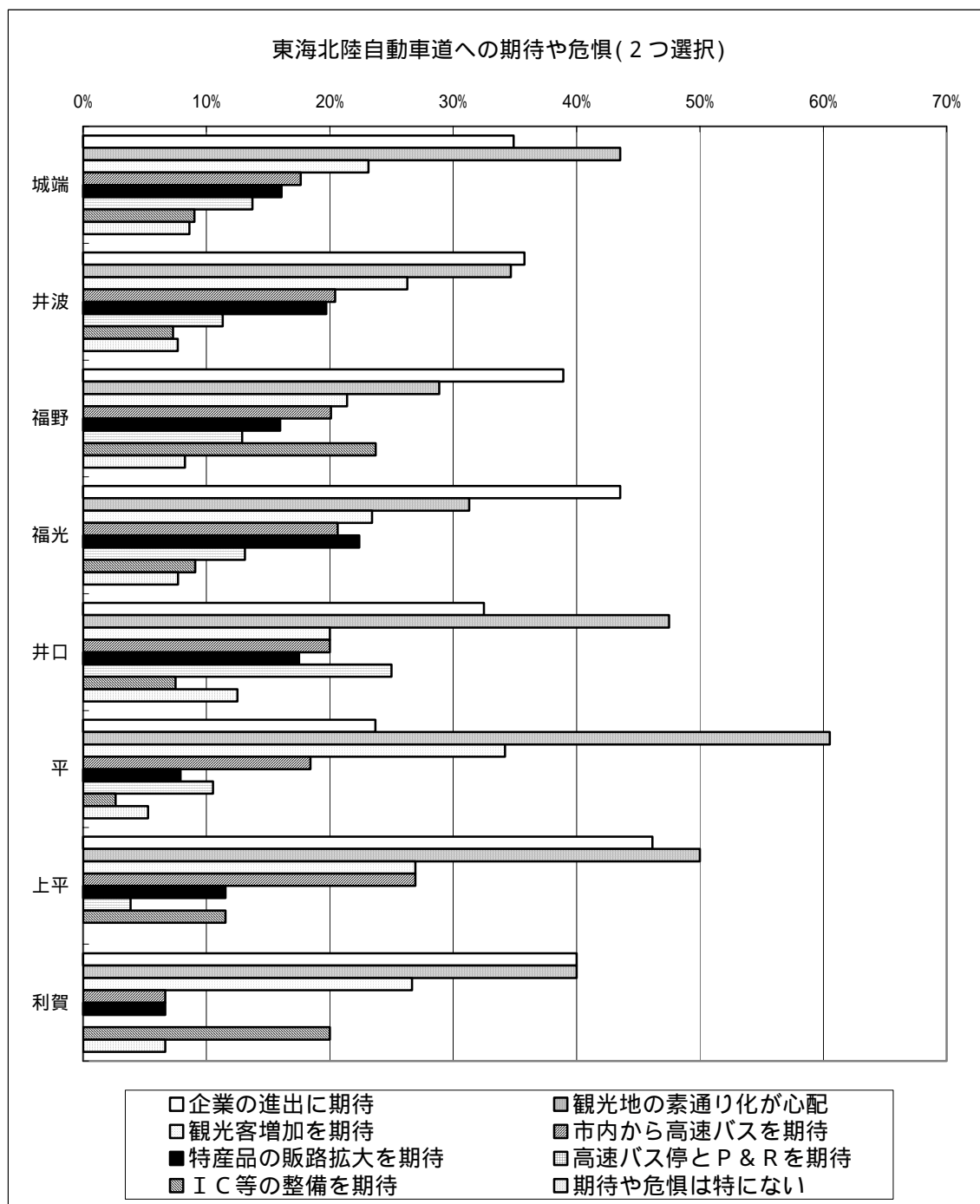
IC：インターチェンジ(高速道路の出入口) スマートIC：ETC登載車のみが利用できるインターチェンジ
 パーク&ライド：自宅からバス停近くに設けた駐車場まで車で行き、そこからバスなどの公共交通を利用する方法

東海北陸自動車道開通に対する期待や危惧を2つまで選んでももらいました。この結果、「新たな企業等の進出に期待」約39%、「観光地の素通り化が心配」約35%、「観光客の増加を期待」約24%、「市内から高速バスを期待」約20%、「特産品の販路拡大を期待」約19%、「高速バス停とパークアンドライドを期待」約13%、「IC等の整備を期待」約12%などとなっています。



地域別にみると、「観光地の素通り化が心配」の意見が城端、井口、平、上平で多くなっています。福野、福光では「企業の進出に期待」が1位になっています。

地域別



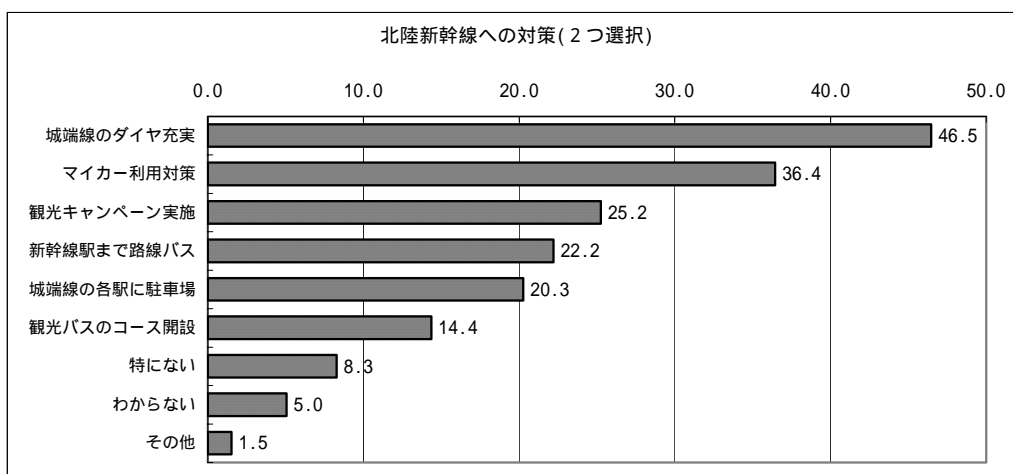
(9) 北陸新幹線への対策 (2 つ選択)

問27 平成26年度までに北陸新幹線が開通し、高岡市内の城端線との交点に新幹線駅が予定されていますが、あなたは新幹線開業にあわせて何を望みますか。

(主なもの2つに 印)

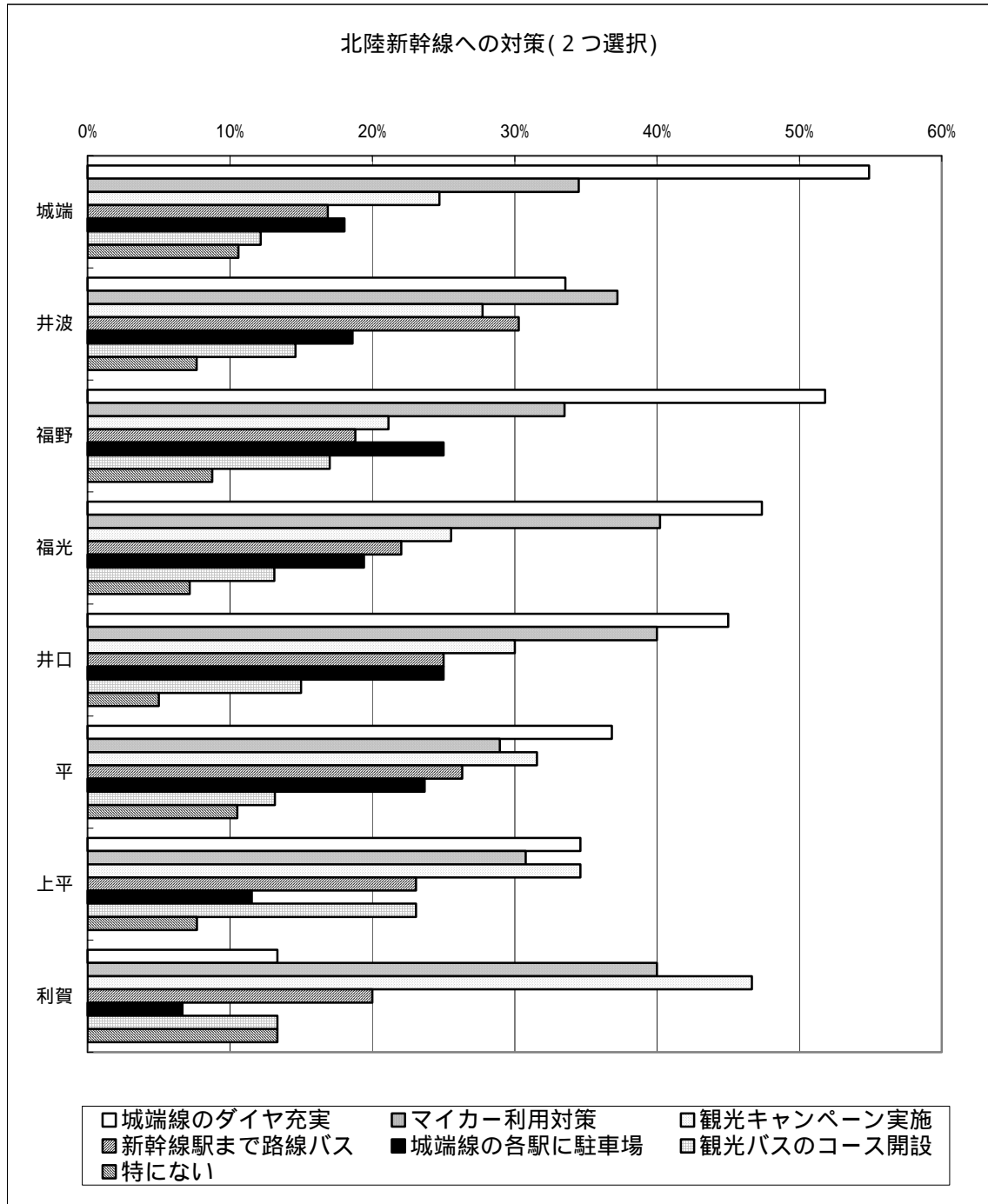
- 1 . マイカーで利用しやすいように、広域幹線や駐車場の整備を図る
- 2 . 乗り継ぎが便利のように、城端線のダイヤを調整(増発)する
- 3 . 城端線の各駅に駐車場を整備する
- 4 . 南砺市と新幹線駅を連絡する路線バスを運行する
- 5 . 新幹線駅から南砺市を回る観光バス(コース)を設ける
- 6 . 新幹線開業にあわせて、南砺観光キャンペーン(宣伝活動)を展開する
- 7 . 特に望むことはない
- 8 . わからない
- 9 . その他 ()

北陸新幹線開業に併せた対策 (2 つまで) として、「城端線のダイヤ充実」約47%、「マイカー利用対策」約36%、「観光キャンペーン実施」約25%、「新幹線駅までの路線バス」約22%、「城端線駅の各駅に駐車場」約20%、「観光バスのコース開設」約14%となっています。



地域別にみると、福野、福光、城端などでは「城端線のダイヤ充実」が多くなっていますが、井波では「マイカー利用対策」が多くなっています。また利賀では「観光キャンペーン実施」が最も多くなっています。

地域別



4 . 自由記入意見

自由記入欄には356人から回答があり、回答件数は448件で、地域別分野別の件数は下表のとおりです。

	城端	井波	福野	福光	井口	平	上平	利賀	計
1 . 地域の良さ・特性	1	2	1	3					7
2 . 南砺市の将来像	1	2	5	8	1				17
3 . 自然や景観の保全	2		4	8			1		15
4 . 人口の定着化・増加策	8	11	5	12	2		1	1	40
5 . 土地利用・交通	6	16	12	31	1		1		67
6 . 生活環境・生活施設	4	5	3	6					18
7 . 安全安心・治安・防災	4	4	7	9	1				25
8 . 保健・医療・福祉・子育て	6	3	14	19					42
9 . 教育・文化	4	3	6	6	2				21
10 . 農林業・産業振興、企業誘致	3	1	3	6	1				14
11 . 商業・商店街振興	4		1	7	1				13
12 . 観光振興	2	7	4	7					20
13 . 都市計画	2	4	5	12					23
14 . アンケート調査	5	3	5	10	2	1			26
15 . 合併の評価・要望等	5	6	1	6	1				19
16 . 市民の参加・協働	4	2	3	2					11
17 . 公平な行政運営	5		2	6	1		2	2	18
18 . 行財政の効率化・健全化	11	9	9	21	2				52
合 計	77	78	90	179	15	1	5	3	448

土地利用・交通、行財政の効率化・健全化、保健・医療・福祉・子育て、人口の定着化・増加策への要望が多くなっています。

交通では、高齢化に伴って鉄道やコミュニティ・バスなど公共交通の充実を求める意見が多く見られました。

行財政では、税金の有効活用・赤字解消を求める声が多くありました。

福祉・医療については、高齢化を目前にしてその充実を図ることが一層重要になると考えられており、医療機関の連携強化や統廃合による赤字克服などが多く指摘されていました。

人口定着化では、若者を中心とした人口の流出を防ぐことが、市の最重要課題と危機感を持って受け入れられ、その対策として、企業誘致等の就業先の確保、住宅や生活環境の整備など多岐に渡る提案が出されています。都会等からの転入人口を受け入るという考えも、散見されました。